

管外視察（取手市議会）からの考察と取組について

令和6年10月29日～30日の2日間に実施した取手市議会の視察から、飯田市議会において特に検討に値すると思われる事項をまとめた。（ゴシック体）

なおこれらは全て議会運営委員会の所管事項ではないことから、その取り組みに関する提案は以下のとおりである。（明朝体）

1. ICTの積極的な活用

① 「音声認識システム」を活用した会議録の作成（会議の文字起こし）

<取組の提案>

「評価モデル」⑩-2『ICTの更なる活用』の実施主体である議会改革推進会議へ視察関係資料を申し送り、同委員会を受け皿に扱いを検討する。

② 「市民との意見交換会」へのオンラインでの参加

<取組の提案>

「評価モデル」④-1『議会報告・意見交換会の在り方を・・・』の実施主体である広報広聴委員会へ視察関係資料を申し送り、同委員会にて引き続き検討を進める。

③ Web版議会だよりによる、市民参画を促す議会情報発信

<取組の提案>

広報広聴委員会へ視察関係資料を申し送り、議会だよりの編集の参考とする。

2. 主権者教育への議会としての取り組み

① 学校側と議会との共同企画による取り組み（取手市では、「教育」の側面から中学生を対象として成果を得ている）

<取組の提案>

「評価モデル」⑭『主権者教育と選挙の充実』の実施主体である広報公聴委員会へ関係資料を申し送り、同委員会を受け皿に扱いを検討する。

以上